

【8月度講演会】 講演会

② 「既設下水道管渠の耐震化工法」

講演者：日本スナックロック協会会長 喜多島 悟

3. 既設下水道管渠の耐震化工法（マグマロック工法）

阪神大震災以前の膨大な施設は耐震性を有しないのが実情である。国は平成 18 年度に「下水道地震対策緊急整備計画」を策定し耐震性を高めることとした。種々ある耐震化工法の一つがマグマロック工法である。

本工法は、非開削で①既設管渠の継手部②マンホール直壁の継ぎ手部③マンホールと管渠の接続部を短時間にレベル 2 地震動に耐える耐震構造に改善する工法である。

主要部材は、円筒形のゴムスリーブの内側に、円筒状に加工したステンレススリーブと固定金具で構成されている。設置は、対象箇所の誘導目地の位置に、仮組みされたステンレススリーブを、油圧ジャッキで固定金具を圧入・拡径しながら内面に圧着させ水密性を維持する工法である。